



彼杵小学校だより NO. 7

「強く 正しく 朗らかに」



〈ホームページ〉 <http://www.kyoui.higashisonogi.jp/sonogi-syo/>

平成 29 年 6 月 12 日
東 彼 杵 町 立 彼 杵 小 学 校
TEL 0957-46-0038
(文責 校長 原 源 吾)

10 年後、20 年後の未来に必要な力は……？ 【全校集会より】

今年度初めての全校集会では、私(校長)が講話を行いました。今回は、学校の教育目標(めざす児童の姿)の1つ「進んで学ぶ子」について、子どもたちに少しでも考えてもらいたいと思いました。

講話では、3つのロボット【(上)昭和時代のブリキのおもちゃ。(右下) 会話ができるロボット、(左下)介護ロボット】の動画をもとに話しました。現代は、人間と交流したり、人間の代わりに働いたりするロボットがたくさん発明され、ものすごい速度で発展しています。人間がすることは大抵ロボットやコンピュータがしてくれる便利な時代も目の前です。しかし、喜んでばかりもいられないようです。なぜなら、ある調査によると、今後10～20年程度で、今ある仕事の約半分は自動化されるという報告があるからです。これまでの仕事が機械に奪われる時代が到来するというわけです。まるで映画みたいな話ですが、今でも自動運転の車や掃除機等、昔には到底考えられなかった物が実在していることを考えると、決して夢物語ではないようです。



10～20年後、子どもたちは大人になり、大きく変化した世界で、社会人として生きていきます。新しい仕事を創り出したり、仲間とうまくコミュニケーションをとって一緒に仕事をしたりといった「生きる力」が必要になります。どんなに社会が変化しても対応できる生き抜く力を子どものうちから育てなければいけないと思います。そのために、必要な力として、次の5つをあげました。

「自分の考えを、しっかりと話す・書く力」「聞く力」「コミュニケーション」「くふうする力」

もちろん、毎日家庭学習で頑張っている漢字・計算・音読等の基礎基本が土台になります。その上で上の5つの力をつけるように頑張ること、「進んで学ぶ子」の「進んで」には、そのような意味も含まれています。

雨の日の登校に一声を！

梅雨に入りました。これから傘をさして登校することも増えると思います。雨の日、お子さんが家を出る時にはひと声かけて送り出してください。

- 急な雨で溝が増水する場合があります。傘を溝に突っ込んだり、物を流して遊んだりしない。
- 風が強い日は傘を両手でしっかり持って歩く。
- 歩道を歩く時は、傘が車と接触しないように、車道と反対側を歩く。
- 道路を横断する時は、信号や車の動きをいつも以上に確認する。

※雨がひどい時は、替えの靴下やタオルを持たせてください。雨の日
に自分の力で歩くこともいい勉強になります。

